京都精華大学同窓会木野会　会報
http://www.kyoto-seika.ac.jp/seikajin/index.html

精華人 SEIKAJIN

2003 March
Kyoto Seika University
Alumni Association KINOKAI
SEIKAJIN
11

京都精華大学同窓会 木野会
京都市左京区岩倉木野町137 〒606-8588
T.075-702-5201　F.075-721-9019

特集 英語英文科から人文学部へ from KINOKAI

東京支部同窓会報 江戸の瓦版 8
西日本支部同窓会報会報 KINO WEST 10
しが支部だより
東海地区情報

THIS IS MY SPACE
数珠つなぎ―第9回
INFORMATION

英語英文科から人文学部へ

1968年京都精華短期大学開校と同時に産声を上げた英語英文科が1989年4年制人文学部人文学科に発展的に解消され、2000年新たに環境社会学科が併設されました。そしてこの春、人文学部に専門性をもたせ社会形成の責任を担う人材を育成しようと環境社会学科に加え、社会メディア学科・文化表現学科が開設されます。英語英文科の最終目的とする語学を武器に何を探求するのかという方向性はこれらの学科に望むことができるのか。

司会● 本日は皆さんどうも師走のお忙しい中をお集まりいただきまして、ありがとうございます。司会をさせて戴きます谷と申します。お隣から英語英文科から81年度生の角井さん、77年度生の宮城さん、68年度生の中村さんと、人文学部から89年度生の井上さん、満林さん、山野さんです。よろしくお願いします。山野さんは現在大学事務局に勤められておられます。本日は大学側の代表として来ていただきました。今日は私を含めて英文科4人、人文学部3人集まって頂きました。まず英語英文科の方から当時の英語英文科の様子を振り返って戴いてどうだったかということをお聞かせ下さいますか。

英文科と英語英文科のちがいとは。

中村● 私は第一回卒業です。ということは第一回の入学なんですけど、当時はほとんどの大学では英文科ということで生徒募集をしておられて、精華大学の場合は、英文科ではなくて、英語英文科という英語という言葉がついたんです。何故その「英語」を付けたかということを入学時に先生方からお話がありました。文学を勉強するばかりではなく、英語を勉強して広く社会を見よう、というような主旨であったのではないかと思います。私の記憶は随分古いので、ほんとうに断片的にしか覚えていないのですが、確か、そういうようなことだったと思います。「どこの学部?」と聞かれて英文科というとすっと通るんですが、「英語英文科」と言いますと皆んなが「エッ?」と言わはって、ちょっと英語英文科というのは若干面倒くさいなという記憶がありました。その後人文科に変わったということなんですが、私が勉強している時は、教えていただいた先生が「英語を勉強するのではない。英語を勉強することが最終目的ではなく、英語を修学して、そしてその英語を使って何を勉強するかということが勉強する目的なのだ」ということをおっしゃられました。私もほんとうにその通りだと思って私なりに勉強しました。

司会● そうですね、私も覚えていますが英語が最終目的ではないということはしょっちゅう言われていましたね。2年生になるといろいろと貿易とかガイドとか秘書とかがあって、あのへんが英語科というところの特色付けだったんでしょうね。

中村● 実際に役に立つように、社会人になって即実践できるようにということで貿易英語とセクレタリーコースと、英語を使って観光客の方に英語で話せるということでガイド科がありましたね。

司会● それと文学がありましたね。確か普通の英文科のように文学があったと思いますが。

中村● 文学もすばらしいですが、卒業した時に文学をもって仕事をすることはちょっと難しいかなぁと私は思ったので・・・。専門的に教えて戴いたのはすごく良かったと思います。

司会● 宮城さんご自分の大学生活を振り返ってごらんになって。ご自分はどのようなことで、精華に行かれて良かったとか、どういうふうに思われます?

宮城● 志望の動機というのは、ここしか受からなかったというのがありますが（笑）。昔からアメリカというか、英語の音楽とか文学が好きだったので、1回生の時に文学コースの片桐先生の文学のゼミに入ったわけです。

司会● じゃ、宮城さんは文学コースだったわけですか?

宮城● そうです。

司会● ちなみに、中村さんは何コースだったんですか?

中村● 私はガイドコースでした。実際に桂離宮に行ったりして、ガイド実践を勉強させていただきました。

角井● 私はここの大学を受ける時に先ず考えたのは、高校の時、職業学校だったんです。その後そのまま就職してしまうのも面白くないかなぁと思いまして、親が許してくれる限り少し臑を囓ってみようかなぁと思いまして、そうゆう学校から受験できる大学の広さ、窓口の広さというのが精華のほうにはあったというのが一つ。その中でも「女性学」というのがその頃のブームだったと思うんですが、ちょうどウーマンリブから始まってちょうどそういうブーム的なところがあったんです。そういうのに興味があったというのがあって。直接職業に結びつくと先輩方がおっしゃっていましたようなガイドのコースがあったという記憶は私にはないんですが。

宮城● 79年度生がそのコースの最後だったんです。

司会● なるほど。ではそういうことで「女性学」のほうを取られたんですね。

角井● そうですね、藤枝先生のもとで勉強させていただきました。

英語英文科が無くなっても主旨は貫かれているはず

司会● 4年制大学になる時に英文科というのがなくなったんですが、それについてはどういうように思ってらっしゃるのでしょう。

中村● 最初の主旨を貫いていただいて、英語を勉強する

のは意識の中で当たり前であって、取り敢えず、英語が話せないと世界が見られないというのは皆んな分かっていることなので、英語英文科という名前がなくなってもその主旨はきっと貫いておられるのだろうと思っておりました。

宮城● 無くなったと感じたことはありません。大学が無くなった訳じゃないから。人文学部といっても英語自体の授業がかなり多かったようですし、それが発展した形だというふうに受け止めたものですから。残念でない、といえば嘘になりますが、特に特別な意識はなかったですね。

角井● 私も宮城さんと同じです。違和感というよりも「無くなったんだな、4年制になったんだ」という感じでした。

人文学部って・・・

司会● それで4年制大学になって、英語英文科が発展的解消ということで人文学部という形になるんですが、人文学部というのは結局どういう学部なんでしょう。

井上● どういう学部なんでしょう。僕もよく分からないんです。何か人文学部……何でも人間がやっていることは全て学問、研究分野になるという感じで、カリキュラムが始まっても、横には経済をやっている人もいれば、片方では森の中に入ってキノコを調べている人もあり、何を勉強するのかは自分で決めろというように言われたので、これは入学式の時に岡本先生の記念講演があって、そういうふうに「やりたいことをやってください、精華はそういうところです」といわれたのが印象に残っています。

司会● それって我々は与えられることに慣れているじゃないですか、突然君達の好きなことをやれ、しかも学問の場でやれ、と言われてもすごく難しくないでしょうか?

井上● 難しいというか、最初は戸惑いました。僕の場合中学、高校と厳しい校則というか「こうしなければならない」というのが当たり前でした。そういう意味では楽になったなと思いましたし、初めて認めてもらえたとも思いました。

司会● 満林さんはいかがですか。

満林● 私は授業というよりキャンパスライフの中で先生方であるとか、事務局の方々から活気に溢れた感じを受けました。そういう意味では大変楽しい学生生活を送らせて貰ったと思います。

司会● 人文学部の中ではどんな専攻をされたのですか?

井上● 僕の場合は男性ということで、女性学がやってきたことを受けて男性がどう応えるかというそういうようなテーマだったのです。今から見ればまだまだ定着はしてないのですが、男性学とかジェンダースタディということでした。

◀ 井上一明 89L

◀ 角井佳子 81E

司会● 先取りですね。

井上● そうですね、そういう運動自体がまだ始まったばっかりで、とても楽しい思いがしました。

司会● 最初英文科から人文学部になる時に、英語の授業が非常に多い人文学部になるというように聞いたのですが。

満林● 残ってましたね。20単位。ですから1年と2年の間に必修で英語の1〜10までありましたね。

人文学部はどんなふうに変わるのですか?

司会● それが今度は人文学部が無くなってしまうようですが、山野さん、そのへんのところを少し説明していただけますでしょうか?

山野● 先ほど中村さんのお話しにもあったのですが英語英文科というのが英語だけでなく、英文という文化がついて、英語を習得することによって、文化、文明をも身につける、ということであったんですが、それを発展的に解消したのが人文学部ということでした。英語を基礎教育といたしまして、それを習得した人間がいろんな方向で、例えば国際であったり、または日本文化を見直したり、学際的な環境という観点から研究を進めていこうということで2000年の4月から人文学部という中に従来人文学科しかなかったんですが、人文学科と環境社会学科というのを作りました。それぞれの専門性を特徴を伸ばしていこうということで今回、社会メディア学科と文化表現学科という学科を設けました。それは社会のいろんな問題に広く目を向けて、それらを理解するための歴史的思想的枠組みを取り入れて人間社会そのもののグローバル化というものを把握していこうということを学科の目指す方向性ということにしております。当然情報メディアの習得ということにとどまらないで、情報メディア環境において実践的に社会形成の責任を担う人材を育成していこうという考えを持っております。

司会● 難しいですね。

山野● なんか、堅苦しくなりますが…。文化表現学科というのは、人文学科の中で取り入れていました文化というものを、伸ばしていこうということで、映画であるとか演劇ですとか、舞踏音楽その他

の芸能というものをもう少し深く研究していこうということで、文化芸術芸能の発展に貢献していく人材を育成していこうということで、2003年の4月から設置することになっております。

司会●それはやはり京都だからということがあるのでしょうか。

山野●勿論英語英文科から人文学部というようにかわった根幹に京都という立地を考えまして伝統芸能、伝統産業というものを深く研究し、その得意分野を伸ばし産学化体制に応えられるようにされました。ですから人文学部の中に、環境社会学科、社会メディア学科、文化表現学科の三つを設けると言うことです。

司会●ということは人文学部という名前は無くならないんですね。では、以前の英文科が無くなったという時の状況とは違うんですね。

山野●さらに発展させるということですね。

だから学長であっても「岡本君」と呼ぼう！

中村●社会に出るためには英語が必要であるという主旨は変わってないですよね。

司会●教職員の方が「ここはユニークだ、ここはユニークだ」と言われていまして、その当時は私たちは何がユニークなのか、全然実感として無かったんですが。

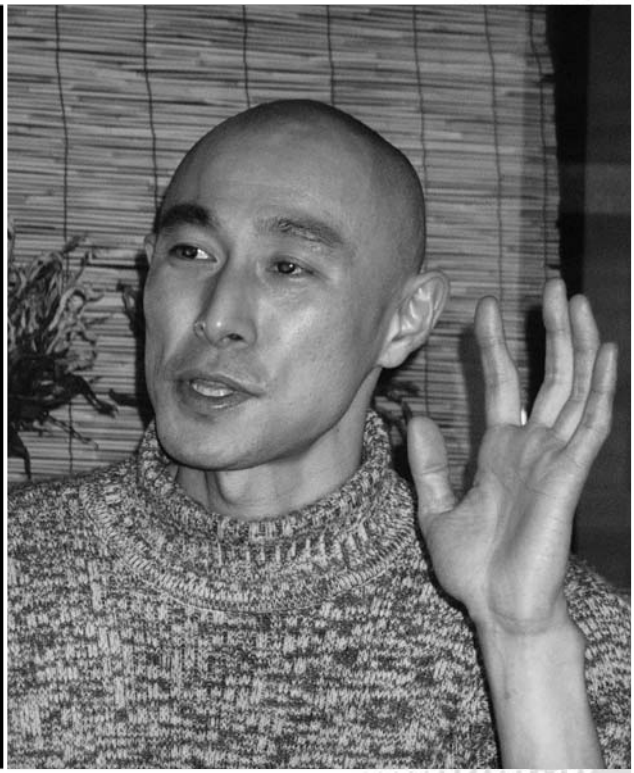
中村●先生であっても先生と呼ばないでおこうと、だから学長でも岡本君と言おうということだったのですが、皆んな平等にというのはものすごく謳ってはったんですけど、実際には無理なところもあったようですね。

司会●でもその精神みたいなのは、未だに受け継がれていますよね。卒業式の時に、今の中尾学長が壇上の演台からわざわざ前に出てこられて、台の上から卒業証書を渡されずに必ず前に出てこられて生徒さんと同じ位置の所で渡されるのをいつも見て感動するんです。やはり最初の平等という精神が変わってないんだなぁと思うんです。社会に出たらうちの学校って違っていたんだというのをすごく思ったんです。どうですか、宮城さんは。

自由自在と責任

宮城●基本理念に自由自治というのがありまして、自由自治というのは何をしてもいいということではなくて、責任がつきまとうわけです。本来は大学の自由というのは学問の自由というような意味で、一般常識とか社会通念といったものを忘れてほしくないと思います。それともう一つ精華の基本に友愛というものがありますね。これは僕が思うに「他人との違いを認め合うことである」と思います。だから大学はある種のイデオロギーだけに偏らず、幅広い視点を持つことが大事だと思います。

◀中村美知子 68E



◀満林晃典 89L

ビラはなんとかなりませんか？

宮城●もう一つ、塵一つなく管理されているという状態には違和感がありますけれども、環境社会学科というのがあるのですから、もう少し学内をきれいにしてほしいと思います。

司会●それに対して山野さん、いかがでしょう。現場にいらっしゃるわけですが。

山野●よその大学、特に古い歴史を持たれている大学が郊外のキャンパスに移られまして、いわゆる管理体制が厳しくなって、学内にビラ一つ、落書き一つないというキャンパスもたくさん今出来ておりまして、かたや精華大学はビラは貼り放題、ペンキは塗り放題、というような現実があります。そういう意味では学内美化という観点からいいますと非常に汚い、防火的に見ましても良くない。消防の査察が年に2回あるのですが、毎年消防署のほうからも「ビラは何とかなりませんか」と言われますけれども、先ほど言いましたようなキャンパスから来られた大学の教職員ですとか、学外から来られる一般市民の方から精華大学を見ますと非常に昔の大学の雰囲気があってこういう大学が羨ましいというようなことも言われます。私の仕事でいいますと、環境のISOの運用をしている事務局ですので、綺麗なほうが望ましいのですが。

司会●我々が学生の頃はどの大学でも学園紛争が真っ直中でして、どの大学でもペンキで殴り書きでビラが散乱しているというような時代でしたので、それが大学の姿であって当たり前でしたね。

若いといえども もう35歳、将来もしっかり考えなければ

中村●精華だって新しいと思っても、もう30年以上も経っているわけでしょう。ますますこれから発展するんだなというのが見えるので、将来頼もしいなと思います。

司会●角井さんは如何でしょう。変わっていくのを目の当たりにご覧になっていて、

どういうふうにお感じになられますか?

角井● 卒業してから、10年以上は空白の期間があったのですが、みるみる変わったというのがあります。山間の中にある校舎で暗いイメージがあったんです。校舎自体は暗いけど、学生自体は生き生きとしていたというイメージで、中は温かい明るい感じで。今はもうどうなんでしょう、今の学生さんのイメージというのは。

満林● いつも木野通信を読ましていただいていますが、学長の言葉がいつも書いてありまして、大変素晴らしい大学だなとつくづく思っています。私ら人文学部の1期生の卒業生の子どもがまた大きくなって大学に行く年代になった時により良い大学になっていてほしいなぁと思っています。

新施設で勉強出来ます・・「騙された」

井上● 入学時、卒業までには全部食堂も新しくなって使えるようになりますと聞いていたんですが、結局は何も出来上がらず、なんか騙されたような感じでした。そういう施設がどんどん出来上がって羨ましいなぁと思っています。ちゃんと使えているのかどうかは心配なんですが。

司会● そうですね。山野さんは卒業生であり、今現在学内におられ、どんどん変化していく真っ直中にいらっしゃるわけですが、いかがでしょう。

山野● 組織のハード面でいいますと、どんどん大きくなっています。ただauthenticといいますか、岡本先生が「研究室が空いているので皆さんどんどん来てください」と言っていたことは未だに引き継がれていまして、他の大学では考えられないくらい教員と学生の接触密度はすごく高いです。多分日本で一番高いんじゃないでしょうか。ハード面の施設の使い方という点では、先ほど宮城さんがおっしゃられたように、いい加減に自由に使ったらいいという、自分たちで制御せず好き勝手に使ったらいいということがありますので、これは何とか変えていかないといけないかなぁと思います。

ISOのスペシャリストとして後輩たちが活躍してほしいですね。

司会● 先ほども少しお話しいただきましたが、将来精華大がどういうふうになっていったらいいのか、またそれと、

◀ 宮城明和 77E

◀ 山野高宏 89L

ご自分との関わりみたいなものをお話いただきたいと思います。

中村● 後輩の皆さんの今の話を伺っていると、当初からの主旨は変わっていないと。だから名前は変わっても、短大が4年制になって、英語英文科が人文学科になって今回も内容は少し変わっても根本的には変わらないようなので、初期の主旨が変わってないということで素晴らしいと思います。それと英語に関してはほんとうに私がこの大学で英語を学んでいた時は英語を話せる人が「あの人、英語喋れはるんや」というくらい目立ちました。今でも日本人は英語を勉強しているにも拘わらず英語がほんとうに話せて、使いこなせる人は少ないと思うんです。だから英語を勉強している人口は多くてもそれを使えている人は少ないので、「まず英語を勉強してそして世界を見よう、世界を見るためには英語を勉強しなければならない」というのは当たり前なので、初めの通りでいいんじゃないでしょうか。私はすごく嬉しいと思います。

宮城● だいたいのことは先ほどいいましたが、後は僕らの頃は良く言えばアットホームな雰囲気がありました。昔は事務局で学生と事務局の職員が相まみえるという光景があったんです。今はほとんどないように思うので、それがあることの善し悪しはありますが、少しそういう雰囲気はなくさずあってほしいなと思います。教員と学生との関係はあっても事務局職員と学生の関係が薄れているのではないかと、それが心配ですね。それが同窓会ということにも関わってくることですから。木野会の初代会長の赤坂さんが、「私達の頃は、吉田松陰の松下村塾のようなところがあった」という喩え方で語っておられましたけれどもね。

司会● その良さを継承していってほしいということですね。角井さん如何でしょう。今後精華にどういうふうなことを望まれますか。

角井● これからは環境＝ISOということでどの企業も捉えられていると思うんです。私の会社でもISO14000をとるということで頑張っていたので、それに先駆けてそうしたISO取得のためのコーディネーターみたいなことをなさっている方もいらっしゃるということですので、是非そういう部分でいいほうにどんどんアピールされて発揮されたらいいのではないかと思います。せっかく学科として設けられるのですから、その辺で頑張って伸びていただきたいと思います。

司会● そういうISO等のスペシャリストとして後輩達が活躍してくれればいいです

ね。

司会● 井上さんはいかがですか?

井上● そうですね、精華大学にどういうふうに伸びていってもらったらいいのかというのは僕も分からないんですが、どんなに立派な大学になっても中身は昔どおり、平等であるとか自由であるというのを追求・模索して、続けていってもらいたいと思います。

メディアをフルに利用しやってみることに

司会● 「子どもたちが帰ってこれるような大学」とおっしゃっていましたが、他にはお考えは?

井上● 私はもう出てしまいましたので、基本的にどうなってもいいんですが(笑)、個人的には今も大学を利用させていただいていて、非常に楽しませていただいています。情報館やいい講演会があったりしますので、そういう面でメディアにも出ていますし、たくさん私も参加させていただければありがたいです。

中村● 私、今年チベットに行きましてね、そこでダライ・ラマ氏が何年か前に精華に行ったという話を聞いてびっくりしたんですよ。アウンサン・スー・チーさんもそうですが、そういう常識から少し外れた方を呼ばれるってすごくいいことですよね。それだけ力があるってことでしょうけど。発想がすごいですね。卒業生が遠いところから講演を聞きに来たって。

司会● そういう意味でのアピールする力ってすごいね。

満林● メディアを利用する、ね。

司会● 上手ですね、ある種の人たちを刺激する……。

中村● どうやって呼ばれたのですか。

山野● インドまで行ったんです。(笑い)

中村● まだ若い大学だから出来たことかも知れませんね。伝統的な大学だとなかなか難しいでしょうから。

精華人の子供は精華人でなければならない!

司会● 最後になりましたが、山野さん、反対に今度は学校サイドからの卒業生に対する希望というものがありますでしょうか。

山野● 大学から卒業生に望むことというのは、大学がいかに切磋琢磨しながら、学校運営をしているかということに尽きると思うんです。ここからは同窓会の役員として言いますが、精華を卒業されたお父さん、お母さんの子どもというのは精華のスピリッツがやはり継承されているでしょうし、大学としてもそのスピリッツを継承していかないといけないということがありますので、そういうご子息をどんどん取っていければなと個人的には考えています。

司会● そのためには、京都精華大学を魅力ある場にしていただくということで私たち卒業生も子どもたちに「良い学校だから是非行きなさい」と胸を張って言えるように精華も頑張っていただきたいと思います。学科としての英語英文科、人文科の呼び名は無くなってしまいましたが、その学科が土台となって新しい学科、学部のなかで開学の精神や理念を持ちつつ発展していってほしいと思います。本日はありがとうございました。

◀司会:谷 真美子 69E

総会のご案内 「第16回 木野会総会」

とき:2003年11月3日(月・祝) ところ:京都精華大学

木野会では毎年「木野祭」開催最終日に総会を開いています。会の企画・運営、会計報告などを会員の方々に報告し意見を伺う場としています。また、総会後は学生気分で、同窓会ブースで一息いれて、在学生達の模擬店・フリーマーケットに入り込んで楽しみましょう。
詳しくは追って通知致します。

from KINOKAI

第15回 木野会 総会報告

京都精華大学同窓会木野会
理事 宮城明和（77E）

第15回木野会総会は2002年11月3日に京都精華大学本館3階で行われました。議長には評議員から奥谷卓則氏（68P）を選出。最初に新谷一男専務理事（70P）から2002年度の活動報告がされた後、井本直樹東京支部長（77P）より5月の東京五月祭、甲斐さやか評議員（95D）より9月に福山で開催された「SEIKAパフォーマンス2002」、角井佳子評議員(81E)からは8月の滋賀支部懇親会などがそれぞれ報告され、東海支部からは杉浦章介支部長(73S)、韓国支部からは金琪祚会長（82XD）、台湾支部からは陳鏡閔氏（95M）が各支部の近況を伝えました。再び新谷専務理事が2003年度の活動計画を発表、次に谷真美子副会長（69E）が2002年度の仮決算会計報告と2003年度の予算計画を説明し、続いて新谷専務理事が2003年度の役員・評議員の顔ぶれを伝えました。さらに今回は事務処理円滑化と不備解消のため事業年度とそれに伴う役員・評議員などの任期を改正するために入江完会長（68P）から定款変更の提案があり、また、高橋恭弘理事（68P）からは留学生ジャパンファミリー企画の経過報告がありました。こうしたすべての議案に会場からの意義はなく満場一致で可決され、最後に入江会長が2003年度の方針としては支部の充実、近畿支部の立ち上げ、留学生への支援に力を注ぎ、組織運営の活性化、将来の展望を含めての予算の組み立て、木野会設立15周年企画などを検討したいと述べて無事閉会となりました。

総会終了後は例年同様、明窓館横の常設テントにてささやかな懇親会をもちました。今年は散漫な雰囲気を解消するため透明のシートで会場を囲ったため寒さや夕方からのにわか雨を凌ぐことができ、在学生の保護者である教育後援会の皆様との交流や紙芝居の余興もあり盛況のうちに散会となりました。

6月14日 近畿支部 発足決定

丹波篠山に出没した変なテント村

決して物見遊山で出掛けた訳ではありません。何を隠そう我らが同窓生スーチードロンさんが遊牧民族特有の移動式住居ゲルを建ててしまったのです。

モンゴル料理が美味しい！ 馬乳酒が旨い！ 温泉もあったりして♥いえいえそうではありません。第一回近畿支部発足準備会議をここでもちました。近畿支部と言っても北は日本海、南は太平洋。どのような支部の活動が良いのか？ エリアの分割は様々な問題を膝を突き合わせてじっくりと構想を練り上げました。

告知 近畿支部立ち上げ同窓会開催
日時　平成15年6月14日（土）pm15:00～
場所　京都精華大学『れあた』
大学前踏切を渡った右側、石垣の上にある建物
会費　木野会会員￥4,000　非会員￥4,500

●詳しくは同封のチラシをご覧のうえ
返信葉書で申し込みください。
●問い合わせは京都精華大学同窓会
木野会「近畿支部設立準備委員会」

ジャパンファミリー体験ツアーにご協力ください。

創立30周年の会合の頃より大学・同窓会それぞれから、当大学で学ぶ留学生が学業を進めるにあたり、留学生特有の様々な問題を抱えながら勉学に勤しんでいるではないか？との声が上がったことが発端となり、そこで同窓会として同じ学舎で学ぶ（30年経つと随分りっぱになりましたが）後輩に対し、何か支援出来ることはないかと考え、同窓会木野会に「留学生支援問題対策委員会」を設置しました。約2年間いろいろな角度から大学・留学生の実情実態、社会環境状況などを調査し大学とも協議を重ねてまいりました。

そして今回、マインドケア・文化交流を主旨として、日本の家庭の“温もり”“家庭生活”を体験して貰うべくこの「ジャパンファミリー体験ツアー」を実施しました。第一回目の募集には1泊2日家庭体験ツアー・日帰り体験ツアーに4家族の同窓生の協力を得ることができました。協力参加されたご家庭から「娘とすっかり仲良くなって次の日2人で遊びに出掛けました。」など報告があり和やかな一日を過ごせた様子が伺えました。

第二回・第三回と企画は続けられます、また先輩の仕事場探訪ツアーなど、「これなら出来る」とご賛同くださる事柄がありましたら是非お聞かせください。留学生達も楽しみにしています、ご協力よろしくお願い致します。

詳しくは、同窓会事務局までお問い合わせください。

京都精華大学の 留学生と ふれあう

ハトバスに乗ってGO!

東京に暮らす精華人のみなさんお元気ですか？いつまでも大学生気分でいられるほど暢気じゃないよ！とか精華だからどうだって言うの？なんて言われたら泣きそうになってしまいますが。東京に来ている人は人一倍独立心が強いのも事実。けどみんな独立してるからこそ他人に対して優しくつきあえるのかも。わからないですけどね、そんな訳で集まった精華人御一行様、今回はハトバスツアーだ。

今回の五月祭は移動式会場。いつもはピクニック気分で屋外でやるのが好きな木野会東京支部は、「たまには会場を借りてやろうよ」というみなさまの熱い意見をとりいれ、従来の好みを合体させて今回の企画となりました。

フツウの会場だと時間が二時間ぐらいしか借りられないし、いったん座っちゃうと隣の人としかお話できないし、なんだかあっという間に終わってしまってという悩みもこれで一挙に解決。

途中席替えをしなきゃとか、時間通り着かなかったらどうしようなんていろいろ悩みましたが結局バスに乗っていた約五時間東京の名所旧跡を回るバスに身を任せバスを降りて公園で夕暮れのピクニックをする頃にはみんな顔見知りって感じでした。

今回五月祭に参加してくれた人に電話でインタビューして当日の感想をお話してもらおうと思います。

集合

（午前十一時東京駅前）

みんな本当に来てくれるのかな?という不安をうち消すように続々と集まってくる精華人。

しかし東京駅前といっても広くて迷ってしまう人も、こうゆう時って携帯が便利です。

まずは93Dの稲垣さんは吉祥寺にお住まいのWebデザイナー。どうでした?

『楽しかった、あの代々木公園公園でシート広げてピクニックしたのが精華ノリで面白かった。初対面のいろんな人とも話せたし』

もっとこうして欲しいことってありますか?

『先生たちにも来てもらいたい、高島センセー坪内センセーそれに高島ゼミで一緒だった人、多忙なのはわかりますけどなおさら会いたい、東京にはいっぱい、いるはずなんですけどね、そして出来たら参加した人達と連絡がとれるようなシステムがあればいいなと思いました。』

アッ、チューベーさんだ

東京支部のホームページを早急に整備したいと思います。と同時に作ってやろうという危篤な方は是非連絡をお願いします。

出発！

（午前十一時三十分）

ほぼ定刻通りに出発、かわいいガイドさんに男たち大喜び。ドライバーさんもダンディ。一同バスに乗り込んでビニール袋に詰め込んだお菓子を配ってさあ出発です。なんだかこんなことい つかの遠足かなんか以来でわくわくします。

岡山から駆けつけてくれたのは97Lの澤井さん、彼は木下大サーカスの一員として日本全国を旅する営業マンです。

遠路はるばるありがとう

『ええもう知ってる人、ひとりもいなかったし、めっちゃ緊張しましたハイ、けどあの集合場所に集まったときからなんかもうその辺の人と話始めて全然オッケーって感じでした』誰かとその後連絡取り合ったりしました？『ええサーカスがこっちに来た時電話で話たり前から一度行きたかった九十九里浜に遊びに連れていってもらったり』彼はバスに乗り込むなり、とってもハッピーな雰囲気でツアーの雰囲気を盛り上げてくれました『朝六時岡山発の新幹線に乗って来ました。学校の事務局で五月祭の告知ポスターを見てチュウベイさんにお前も行けとか言われてたまたまその場に居合わせた東京の支部長にも「待ってるでー」とかいわれておそるおそる来てみたら以外に楽しかった、二次会に行って三次会に行って、気がついたら朝で先輩のマンションでチュウベイ先生と寝てました』

また来てくれますか

『ハイまたなんかあったら是非。今仙台にいるので東京まで近いし7月までこっちにいるので連絡下さい。今こっちマイナス一度ですよもう寒くてハイ。だいたい半年ごとに全国各地いろんな所にいくのでいろんな所で精華の人たちと会うのって楽しみです』

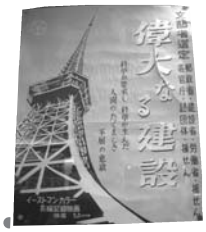
とのことでした。木下大サーカスをみかけたら一声かけてみて下さい。

東京タワー

（十二時十五分）東京タワー着

おやつとともに配られたビールでもうすでにできあがってる人も。

東京タワー内は、水族館、蝋人形蝋、不思議な散歩道など昭和の時代に迷い込んだ錯覚に。広大な面積を占めるおみやげ物屋さんにはなつかしいものがぎっしりです。



東京在住十六年の74Pの弓瀬さん。電話したら大阪に帰ってました。聞けば大阪の本社の方に転勤になったとのことバスの中で自己紹介などをしたとき『僕こうしてみんなで集まるの、めっちゃ好きやねん』と言ってくれました

『いや～面白かったわ、東京タワーも始めて来れたし、けどなあんなあんまりおぼえてへんね。二日酔いでバスに乗ってなーほんで乗ったとたんビール飲んで酔いがぶり返してしもたんや』

後輩たちといろいろお話できましたか

『うんあのな、僕大阪帰ったやろ、ほんで僕が東京で参加してたラグビーチームの後釜に後輩の奴入れたってん、まあ収穫言うたらそれが一番大きいかな』

おそろしい、やはり目的は人それぞれです。ちなみに後釜に入った人は東京支部をよく手伝ってくれる文田君です。ついでに支部長もやってくれるとうれしいんですけど。

『大阪帰ったらなかなか参加でけへんけどまたやる時はゆうてな』

また是非参加してくださいね

東京タワーのキッチュな品々。30・40代の人にはなつかしい宮崎美子に榊原郁恵フィギュアだ。敷地内には謎の物体で一杯、昭和博物館状態

浅草寺

（午後二時）

次は浅草、浅草寺です。バスは銀座を通って東京一の観光地に到着。車中、昼食です。途中東京にいる人の仕事場があったり、先輩の作品がウィンドウに貼りだしてあったり。浅草寺で関西からの見学組と合流です、赤いラメのスーツを着て花魁カツラをかぶった中平先生を関西芸人と間違えてサインを求める人も、お笑い芸人「カレーライスでーす！」ってなんやそれ。デンキブランがおいしい大正ロマンの街。

土産物屋でカツラ購入。中平先生の衣装がかわってます

次は先輩にラグビー部に誘われた92Lの文田さん

『なんていうか僕、結構人とつき

木野会東京支部同窓会報 KYOTO SEIKA UNIVERSITY TOKYO NETWORK
EDO NO KAWARABAN 江戸の瓦版
6 木野会東京支部事務局 〒270-1145 我孫子市高野山226-2
山倉研志方『木野会東京支部』Tel&Fax 0471-85-5454 e-mail kenshi@y.email.ne.jp

2002年東京五月祭は移動式懇親会って事で

合うのがすごい好きやしねー。こういうフツウやったら絶対出会わへんような若い人やすごい（年上の）先輩と話せたりして、ほんで一緒に浅草の仲店通りを中平さんと歩いたり。あ僕ね、こんな事（五月祭）やってんの全然知らんかったんですわ、ある日秋葉原の駅でキップ買おうと思ってたらいきなりバチコ～ンってしばかれてね、一緒におった友達がなにすんねこのおっさん！思て止めようとしたら、酔っぱらって真っ赤な顔した中平さんやったんですわ。ちょうど五月祭の帰りやったみたいで「お前なにしとんね、五月祭行なあかんやんけ」とかいわれて始めてしったんですわ』

ラグビーは続いてます？

『それがね始めて行ったら試合ですわ、僕なにも持っていってなかったのにスパイクからジャージまで全部用意してくれやはって、試合出たらいきなり足踏まれて親指の爪、はがれてしまいましたわ。けどなんかみんないい人で一緒にやるのが楽しみになってきてます』

五月祭はどんなのがいいと思いますか？

『とにかく友達がいっぱいできるのがええから、全国から人集めて海外旅行とかいいっすね。僕一時仲間とね土曜日の夜から酒飲み出して日曜の朝まで飲んでそのまま代々木公園に行って昼寝してっていう生活をずっと続けてたんですわそやから代々木公園は僕の庭みたいなもんですごくのんびりできました』

次は98Eの壇上さん、彼は大阪から参加してくれましたが、電話するとなんと今秋田に。

『五月祭の後いろいろ就職活動して一時東京にもいたんですけどなぜか流れ流れてこちらの写真館に就職しました』

五月祭どうでした？

『いやあの時はブルーな気分で東京タワーの蝋人形館のシュワルツネガーの持ってる銃がしょぼかったぐらいしか覚えてないんですよねー』

就職できてよかったですね

『ええ、けどこちらに全然友達いなくて、こっちで東北五月祭やってくれたらいいのにな～なんて思ってます』

秋田や青森・岩手・宮城・山形・福島にもたくさん精華の人はいます。範囲は広いですけど東北木野会は壇上君が引っ張っていってくれるはずです。

靖国神社

（午後三時）

最近いろんな意味で世間を騒がせている靖国神社、東京在住者もここへ来たことのある人は少なくて、おおきい鳥居や、やたら多い白いハトにみんな興味津々です。

次は右を自認する96Lの倉前さんは東京出身のいなせな材木屋さんです。五月祭の感想は？

『靖国神社とかね、僕は靖国は日本の神髄だと思ってるからね』

ではよく来られるんですか？

『仕事でよく近所へは来るけど参拝したのは始めてですね』

誰か友達できました？

『偶然同じゼミの後輩がきてましてね、後日ほらNHKでやってる「笑点」を見にいきました』

コイズミ首相だ！今日はラフな服装です

代々木公園はどうでした？

『はっきり言って飽きた、なんかバーベキューとかピクニックとか、代々木公園自体が嫌いなんで渋谷も嫌い、今度やるんだったら銀座のなんかオヤジが集まるような焼き鳥屋なんかがいいな、銀座ライオンとか、料金は三千円ぐらいで五千円だとオレはもう行かないよ。代々木は寒いんで途中で帰ったよもう』

じゃもう外でやるのは？

『そりゃまあやれば行くけどさ、もっと近く新宿とか原宿とかオレは嫌いだから』

今回2回目参加倉前さん、楽しむのは自分自身ですよ。

以前銀座ライオンでやった時は七千円で二時間でした。いいとこがあれば是非連絡を。

次は先輩と一緒に「笑点」を見に行った福地さんは97Lの学生さん。

『今は和光大学で人間関係学を学んでいます。五月祭の事は今回初めて知ったんですが、バスも代々木公園も開放感があってとても気持ちよかったです。二年ぶりに偶然会った先輩に「笑点」に連れて行ってもらったり、お笑いが好きなんで楽しかったです。今度はなんか東京都内に最近何件かオープンしてるような健康ランドみたいな温泉とかいいですね、混浴とかだともっといいなその後、浴衣なんか着て、おいしいものをたべたりね、きっと友好が深まると思いますよ』

ハイ私もそう思います。

代々木公園

（午後四時）

ついに最終目的地、代々木公園に到着です。ハトバスを公園に横付けにしてここでハトバスとはお別れです。ガイドさんさようなら。また会いましょう。

ここまでで途中で帰った人を除いて45人、ブルーシートを敷いてピクニックの始まりです。

最後に用事があってここから参加の82Mの武村さんはイラストレーターです

『途中で参加したので感想とか言われてもなにもいえないですけどね、最初から参加したかったです。チュウベイも来てたし。けど「オイおばはんになったな」とかいわれたんで一生恨んでやる～。けどチュウベイさんが来てくれるとなつかしい精華の雰囲気がよみがえるので本当はうれしいです。代々木公園の後二次会の飲茶屋さんに行って三次会に行ってそれで帰りました。二次会が満員電車ぐらいギュウギュウ詰めで、でも年齢の近い人と知り合えてよかったです。

私は東京に来て精華の友達とほとんどつき合いがないけれど別にわざとじゃなくて、こうして知り合いになれると楽しいです。今ナツメ社って所から出てる図解雑学シリーズという本のイラストを担当してシリーズ全部じゃないですけど一冊まるうけで描かせてもらっています。今、韓国映画にはまってホームページで好きな事書かせてもらってます、人に宣伝するほどたいしたものじゃないからアドレスはふせておきますけど、来れるもんなら来てみやがれ』

って事らしいです。ヒントは武村さんのペンネーム「高井戸ランチ」これで見つかるかな。

さて六時前に代々木を引き上げた一同は二次会場のある飲茶屋さんへそして朝まで宴は続いたのでした。

みなさんありがとうございました。

☆ところで今年の五月祭まだ決まってませんが、案内状やメールがきたら参加してね。それと支部活動を手伝ってくれる人も応募してます。きて

二次会は渋谷の飲茶屋さん

手前ミソですが支部長の所属する大竹事務所がこの度『酒とつまみ』という雑誌を出しました。64P￥350円。特集は中島らもインタビュー、中央線ホッピーマラソン、ゲロ自慢座談会など盛りだくさん。デザイン、イラストなど井本がやってます。買って。京都はブックファースト・三月書房などで発売中。
http//:www.saketsuma.com

編集・デザイン イモト77P09ナオキ 写真撮影 土井信

木野会西日本支部
情報コーナー

KINO WEST ⑥

キノウエスト

2003

西日本支部事務局
〒709-0626 岡山市中尾4-7-2
(株)岡山城東広告内 津下勝年方
「木野会西日本支部」
E-mail tsuge@oka.urban.ne.jp
Tel 086-297-9601
Fax 086-297-2399

編集/デザイン:95Dカイサヤカ

SEIKA パフォーマンス 2002 in 福山

今年も楽しい仲間が自分らしい作品を持って集まりました。会場　SPACE SOULのオーナーに語っていただきました。

71T002
河野真美子(旧 馬屋原)

人が人であり続けるために･･･

SPACE　SOULは、スペース甦謳ると書いて、スペースソウルと読みます。「スペース甦謳る」は、画廊・ライブ等の生演奏発表に使用するギャラリースペースと、喫茶・語らい・憩いの場として様々な人達が集うサロンスペース。カルチャーコミュニティー・カウンセリングルームとして活用しているセルフスペースの3つのスペースから構成されています。Ⅲスペースのいづれにも共通するコンセプトは「人が人であり続けるために」です。

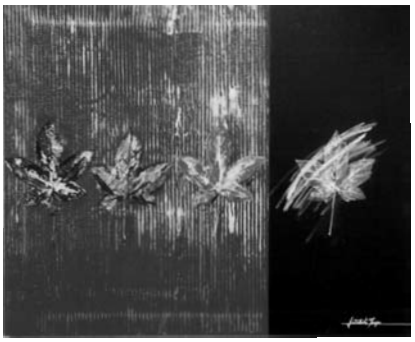
現在、京都精華大学同窓会「木野会」に席を置き、過去、京都精華大学に学んだ根っこからの自由人である私です。しかも、過去には、どちらかと云えば自らが作り手の立場に居り、学生時代はむしろ人嫌いで制作に時を費やすことで他人から距離を置こうとしていた私です。そんな私が今、こともあろうに壮大なテーマを引っさげて画廊オーナーであり カウンセラーとして生きています。溢れる情報や氾濫する「物」に押し潰され、消えかかりそうな自分自身の「魂soul」をこのスペースでゆっくりと甦らせてほしい。そうして、かけがえのない自分自信の人生を「謳歌」してもらえたら････。･･･そんなお手伝いが出来るならば･･･の願を込めてスタッフと共に日々の仕事に勤めています。様々な人が各々の思いを持って生きているとしても結局のところ人は、自分の人生を自分流に「表現」しているのではないかと考えます。その人らしい生き方、表現の仕方が、作品というビジュアルに成ろうと成るまいと、生きている現実こそに讃歌を送りたいと思っています。

昨年2002年の9月3日から6日間、奇遇なご縁に恵まれて「木野会西日本支部」の会員によるSEIKAパフォーマンス2002が私どものスペース甦謳るで開催されました。学生当時は英文科であったり人文学部生だった方々による作品の出品もあり、年齢層も50才代～20才代迄様々で、それでも精華魂ってヤツは熱烈健在で、自由で伸びやか??いいかげんがイイ加減で、最終日の打ち上げ同窓会では出席者の各々が素敵な年の重ね方をしている姿を眩しい気持ちで眺めていました。

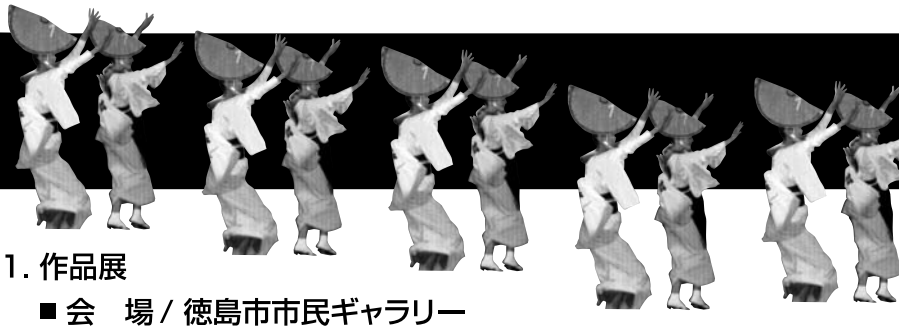
今年は私の専攻していた71Tだけの同窓会を絶対にやろう!!と頑張っている声が遥か埼玉県の方から届いています。楽しみにしています。

人の思いは必ず何らかの形に成ります。芸術はグローバルで国境を持ちません。創り手の想いが鑑賞者の胸に届く時、魂soulの響き合が生まれるのです。スペース甦謳るは今年も海外からの作家作品も発表します。こんな時代だからこそ、なお純粋な芸術生の基に人と人のつながりの広がることを願って止みません。

なんと、オリジナルデザイングッツの販売をする卒業生も登場



SEIKAパフォーマンス 2003 in 徳島



阿波踊りでお会いしましょう。

第4回西日本支部SEIKAパフォーマンスは、今年は四国の徳島で開催されます。作品のレベルも年々上がってきて常連で参加していただける方も増えています。今年はちょうど夏休み期間中にあたりますので、これまでの卒業生と言う枠をはずして、在校生の出展もお願いします。また徳島出身の先生が大勢いらっしゃいますので出展交渉をしています。

SEIKAパフォーマンスに付きものが宴会なのですが、今年は趣向を変えて、阿波踊りに乗り出すことになりました。徳島で阿波踊りの指導をしていただける方ぜひともご協力してください。

作品展、阿波踊りも学部、学科、お住まいの地域に関係無く全卒業生、在学生、教職員が対象ですので遠方の方も多数参加してください。

詳しい日程、申込書は、6月頃に中国地方・四国地方の木野会会員と徳島・香川・高知在住の全卒業生に発送します。それ以外の方は西日本支部まで資料を請求ください。それでは阿波踊りでお会いしましょう。

1. 作品展
   - ■会　場/徳島市市民ギャラリー
   - ■会　期/2003年**8月13日**(水)～**16日**(土)・10時～18時
   - ■搬　入/8月13日・10時より　■搬　出/8月16日・17時より
   - ■出品資格/京都精華大学卒業生、在学生、教職員
   - ■作品形態/自由(市民ギャラリーの使用上の注意点有り)
2. 親睦会
   - ■宴会型の飲み会ではなく、**阿波踊りに参加。**
   - ■会　場/徳島市内
   - ■日　時/**8月13日**(水)作品展搬入後準備

※当初計画の精華連での出場は不可能、
市民が勝手に踊れる会場で勝手に踊る
そろいのTシャツかハッピを用意してはどうかと考えています。

今年は誰が来るんやろ～?待ってるで～

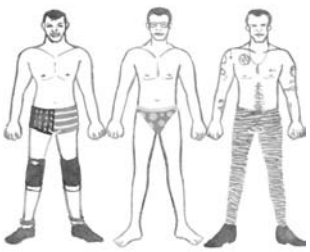
学年?初対面?そんなの関係なし!!

これがうちらの生きる道・近況紹介
精華卒業後のお仕事事情　報告書

92H/大槻悦子（旧 三上）・・・版画→アートスクール経営

偶然アメリカの Academy of Art College Fine Art (painting/drawing)を卒業した女性に出会い、彼女と二人でフリーアート教室を広島市内でしています。市内にも色々な教室はありますが、講師の進める方向性がある程度決まっていたり、講師が生徒さんの絵に筆を加えたり…等、ちょっと堅苦しい流れが苦手で（精華を卒業しているせいでしょうか…笑）今の「デジログものづくり工房アートカプセル」をはじめました。
私たちの教室は「今ノリノリなんだよぉ～！」とか「今日は思いっきり描きたいっ！」なんてゆう、作家（生徒さん）の気分を大切にしていたり、また「美術大学を受験したい！」「上手くなれなくていいから愉しみたい！」「アトリエとして使いたい！」等、1人1人のその人らしさを大切にしているので、受講時間や授業内容が何も決まっていないスタイルでやってます。ただ、それだけにコチラ講師側も日々勉強ですし、生徒さんの人数も日々流動的で今日がどんな1日となるのか全く予想がつかない状態なので大変ではありますね。でもこれが楽しかったりします。
今は「みんなと一緒」より「オリジナリティー」なんていわれる時代なんで、私は助かります（笑）。一般的なOLになりきれない私には、好き勝手わがままを言う生徒さん達に囲まれて、私も「講師」なんて肩書きだけで、呑気に言いたい放題で生徒さんと楽しんでいます。仕事というよりは、アソビですね。アソビ等と言うと、普通は経営者として叱られるでしょうけれど、うちの生徒さんは私の「仕事はアソビ」こんな言葉に怒ったりしませんから（笑）。
http://www.rock.sannet.ne.jp/kapsel/
kapsel@rock.sannet.ne.jp

85D/藤間実華子・・・VCD→イラストレーター



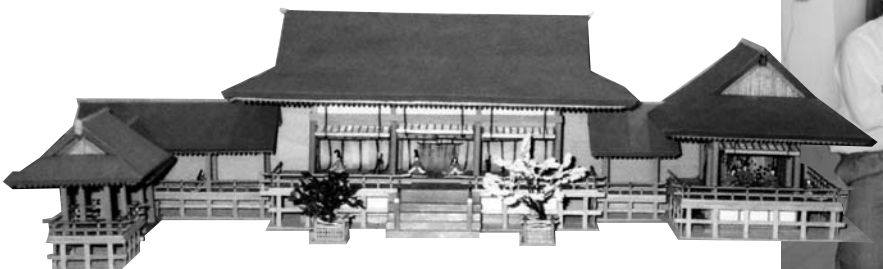
イラストレーター、それは貧乏な響きですが、ワタシは実際貧乏です。
同じイラストレーターでもあのミスタードーナッツのキャラクターでお馴染みの原田治氏は、広告代理店が持ってきたラフスケッチ通りにサラサラと一筆で描いて二百万円！（本人弁）ということですが、それは特殊な人々でしょう。
ワタシとは比べものにならないぐらい仕事をもらう友人は「朝から晩まで仕事し続けているのに国民年金が払えない」と、働かないイエ、ゲージツ家の夫を抱えて苦労しています。ワタシは国民年金は払うことにしていますが、もう何年もスシも肉も食べていません（ちょっとウソ）。
では、なぜワタシはこんな職業を選んでしまったのでしょう。ワタシ、七年前までは某C計算機（株）という会社でスポーツウォッチの企画、開発をするごくまともな会社員でした。丁度G－SHOCKというヒット商品がでた時期で、今が売れているんだ、さあ次をはやく出せということで開発期間は極端に短くなり、製品コンセプトに営業が口をだし現場は混乱、他の赤字事業部の影響で思ったより昇給もしないという、ジレンマの中で完璧に体をこわしてしまいました。
結局、両親に引き取られるようにして会社を辞め広島に帰り、療養生活という名のプータロー生活がはじまりました。毎日、食っては寝、たまにお買い物という日々が何ヶ月もすぎ、初めはやさしかった家族の態度にトゲトゲしいものを感じるようになった矢先、母親がワタシにイラストの仕事をもらってきたのです。なぜか。
「今度、ママさんコーラスの広島県大会の発表会の冊子作るけえ、表紙描いて欲しいんじゃって。お宅のお嬢さん絵の勉強しとってじゃろ。」とのこと。
深く考えずに絵を描いて渡すと一万円もらえました。
ということで絵を描いたらお金がもらえることがわかったワタシは家で寝ながら絵を描くようになったのです。
この原稿を書いている今、ちょうど東京で個展中です。もうここまで来たら、一筆二百万といかなくても百万ぐらいのイラストレーターのお金持ちA様（by日本テレビ系列）をめざします。GO！GO！
mailto:fujima@k4.dion.ne.jp
http://www.h4.dion.ne.jp/～fujima

69D/冨 明雄・・・VCD→美容師

美容師として三十年を迎えようとしています。
現在、全日本美容講師会、ヘアスタイリスト協会等の役員の他、美容師試験審査委員として将来の美容師の育成に力を注いでいます。
代々理髪師の家庭の長男として育ってきましたが、母は美容師でした。家業を継ぐのが嫌で嫌で、音楽と絵の高校生活でしたが、精華短大の教授に薦められデザイン科へ入学。皆様と同じような学生生活を送りました。卒業後、東京のセツモードセミナーでファッションイラストを学び、家業から逃げよう逃げようとしていましたが、駄目でした。ある時まだ希少価値だった男性美容師に遭遇。美容の世界に憧れてしまいました。その美容室がなんと、また京都。覚悟を決め美容師の通信教育を受けながらの修行です。しかし、美容のカット理論、カラー理論等、ヘアデザインすべてが、精華で学んだデザイン理論、其のものなのです。人間としての基本も学びながら、京都府始め関西の美容技術コンクールで多くの優勝を勝ち取りました。毎日毎日、深夜までのレッスンでした。お客様にヘアスタイルを提案させて頂く時もデザイン理論を通して判りやすく説明すると全て納得して頂けます。精華で学んだ全てが活かされていると、日々実感しています。
京都の美容室での店長の頃、今は亡き、事務局の田所さんの計らいで精華女子寮内で何回もレッスンをさせて頂きました。寮生の頭を実験台に後輩の美容師達のカット・パーマの指導です。当時の寮生の皆様、本当にありがとうございました。今は皆、立派な美容師として活躍しております。
私は二十年前に香川県に帰郷し、あれだけ嫌だった家業の美容室を継ぎました。長女も今、東京で美容師修行中です。美は心身ともに健康であってこそ、と言われます。今は美容師として誇りを持ち、美と創造の世界を、お客様と共に楽しみながら、一層の精進をと、誓いを新たにしています。

95L/栗原 健・・・人文学部→花屋

大学3年の夏、昼、食堂の前の白い丸テーブルで一人で素うどんを一本ずつ食べていた。とても暑い日だったのにうどんはぬるくなっていて、昨日はどんな飲み方をしたのだろう?と思っていた。二千個のサイコロを胃に押し込まれたかの様に気持ち悪かった。僕はもう若くないと感じたし、卒業の単位も危なかった。僕は僕が何であるか知りたかった。（それは今でもよく解らないのだけれども）社会に出て何ができるのか、したいのか知りたかった。就職活動のセミナーにも一度出た。「あなたはこういう傾向があるので、こういった方向の職種が向いています。」風の適性検査みたいなのがあって残念だったし、うんざりもした。（今になって思い返せばそれはそれで一つのジョークだと思えるようになった。）
単に生きていくだけならCDや本や酒やワイセツや松島やああ松島や花やらは必要ない。無くても生存してはいける。でも生きていく為にはとても重要だ、そんな事を生業にして生きていけたらどんなに素敵だろうと思った。今はわりと広島では労働条件が悪いとされている花屋に勤めている。（らしい・・・。）花は重い、水を吸えばもっと重くなる。一日中立っているのはつらい、徹夜して花束を作ったりなんかザラにある。銭金で言やあもっと楽でもうかる仕事は、仕事を選ばなければある。大学まで出させてもらっておいて花屋勤めか、という事を言う人がいる。「楽しいし、素敵な仕事ですよ。」と答える。僕はこの仕事に対して非常にプライドを持っているし、大変にやり甲斐も感じている。・・・あ～酒飲みたい。
Omk38k3227c4r9z@ezweb.ne.jp



福山にて
パフォーマンス打上げ
を兼ねた懇親会

しが支部だより

アンケート調査結果報告

滋賀支部アンケート調査にご協力ありがとうございました。アンケートの結果は予想以上に多くの回答を得ることができました。同窓会に参加できなくても、同窓会会報 精華人 や滋賀支部からの案内状でなんらかのつながりを持っていることに、なつかしさと元気をもらっているというコメントもありました。滋賀支部スタッフ一同、またおもしろい企画をしようとはりきっています。

第3回滋賀支部同窓会には、ぜひ来てください。他にも多くのご意見が寄せられましたので，信楽のタヌキが代表でお答えします。

タヌキの Q & A

Q 英文科出身ですが、英文科がなくなり、母校がなくなってしまったようでさみしいです。

A 英文科はいまなお生きています。木野会には多くの英文科出身の同窓生がおられます。皆さん英文科に誇りをもって、現在活躍されています。

Q 同窓会に行って昔をなつかしむ気分ではありません。

A 滋賀支部では、京都バスに乗って通学したとか、学食で食べたハンバーグランチの話もでますが、今、何をしたいのか、何を悩んでいるのか、現在の情況と未来の夢や理想の話題が中心です。人生相談もあり、一度参加したら、病みつきになるおもしろさです。

Q 子供が小さいので参加できません。

A 子供連れの参加大歓迎です。タヌキは、子供が大好きです。タヌキと、いっしょに遊びましょう。すぐに、おともだちになれます。その間お母さんは、子供のことは、忘れてゆっくり楽しんでください。

Q 卒業して二十年になりますが、現在の精華大学は、どのようにかわったのでしょうか。

A 叡電に精華大学前駅ができ、新しい校舎が裏山をうめつくし、それはもうずいぶんかわりました。写真でみるより、話を聞くより、タヌキといっしょに見学会 やりましょう。

滋賀支部アンケート調査結果報告

2002年4月 実施

発送数……1280通
回収数……202通
あて先不明……17通
回答なし…1061通
滋賀県内での同窓会に参加したい……54人
欠席する……142人
開催日による…6人
同窓会はパーティ形式で……25人
アウトドアでバーベキュー……22人
どちらでもよい……8人
滋賀支部の活動に協力してもよい…8人

参加したいという回答のなかで、時期は四季を通じていつでもよいようです。場所も、自宅に近い所をあげている方がほとんどでした。
同窓会にお呼びしたい教職員の項目には、2、3人のお名前がありましたが、ほとんどが無回答でした。

タヌキ 屋形船に乗る

アンケート調査の項目で、滋賀支部の活動に協力してもよいと回答のあった、8名の内の都合がついた5名と滋賀支部幹事5名、木野会理事2名で懇親会を開催しました。もちろん、タヌキもついていきました。

タヌキの瀬田川屋形船レポート

八月十一日 晴れ

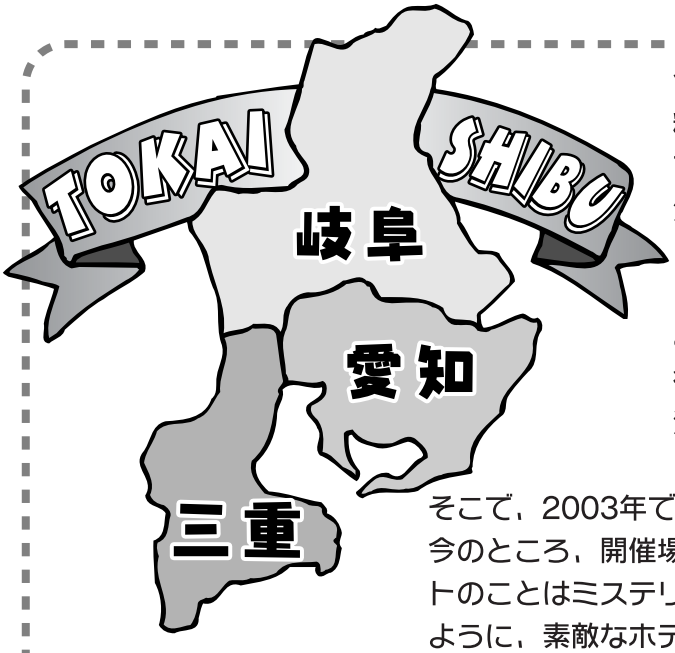
今日はたのしい船あそび。瀬田川の上はすずしい風が吹いていい気分。あのタオルの鉢巻のおっさんが船頭か。うまいことやってや。ワシ、重いから川に落ちたらたいへんや。チョット水しぶきがかかるけど、涼しいてええ感じ。おおっ、しじみご飯のはいった弁当にふなずし、缶ビールでカンパイ！ ついてきて、ほんまによかった。たべてばっかりは、いかん。自己紹介せな。一番、タヌキ。信楽から来ました。と 続いていき、みんな、はじめて出会ったとは思われん。話題は次の同窓会をどうするか、信楽は去年行ったし、どこがええのかなあ。そやけど、精華はどないなってんの。いっぺん見たいわ。ワシも見たい。ほな、みんなで見にいこうか。

もう終点や。日も暮れてきたし、次は、木野祭で会おうな。タヌキも、もちろんついていく。バスに乗ってみんなでいこう。一番前に乗ってるから、ともだち誘ってきてや。

滋賀支部第三回同窓会

"学校へ行こう"バスツアー（予定）

十一月三日（木野祭 開催中）
午前十一時 米原出発
近江八幡 草津 西大津で途中乗車
車内で同窓会の後、木野会総会に参加
校内見学や木野会懇親会もあります。
学生による模擬店やフリーマーケットもお楽しみください。
午後6時 木野出発
滋賀県内をまわって米原着
会費 千円
詳しくは8月中頃に案内状を発送予定



今は昔、2001年9月9日において、第一回東海地区での京都精華大学（短大時代も含む）卒業生による同窓会が開催されてから、もうすぐ１年と半年となります。その間、目立った活動はありませんでしたが、2003年である今年はどぉ～んと**「第２回　輝け！東海地区で同窓会をやったろみゃぁ～！」**（表現にカビが生えておりまが）を開催したく準備を進めておりますよ。不景気な風が吹きすさぶ中にあっても、現在、役員一同が集まり「あ～でもない！こ～でもない！」と口角泡を飛ばし企画運営の方法を探っております。

そこで、2003年での同窓会開催日は、**５月２４日（土）**と設定いたしました。今のところ、開催場所は名古屋駅周辺ということだけは予定しておりますが、アトのことはミステリー同窓会となりそうです。（ほんまかいな？）　ただ前回のように、素敵なホテルの宴会場は今回考えておりません。もっとお気楽にご参加願える会場を考えていきたいですね。

で、今年から同窓会の告知方法が少しだけ変わります。

前回は、この地区にお住まいの卒業生全員に往復葉書を送付させていただきましたが、今回は一通方向の葉書を送付する事にしました。そのワケは前回の復葉書の回収があまりにも少なかったからなんです。ですから今回は同窓会の告知の内容を書いたお葉書が皆さんのお宅に届きます。

　そこで同窓会参加希望の方は、手紙・葉書・ＦＡＸ・メールなどの方法で参会意志表明をしていただく事になります。すこし面倒な手続きをお願いしますが、経費節減といった事と皆さんのご希望に添えるであろうからの発案ですのでお許し願います。（これで参加者が激減したら、私は責任をとらねば。。。。。）（汗）

　さらに、Ｅメールアドレスをお持ちの会員様には、ウェブ上に設置した掲示板のアドレスのご案内をいたします。（今頃遅いやンか！とお叱りを受けそうですが。。。）

　そこではリアルタイムな情報交換や同窓会に対するご意見を伺いたいと思っております。これからの同窓会開催の在り方などのアイデアを募集したり（東海ならではの開催方法とか）、日常的な情報交換（子育てのお悩みとか地域のお得情報）もこの場所で行えたら、同窓会はいわゆるオフ会の様相となるでしょう。今後皆さんと共に考えていきたいと思っております。

　今までの同窓会っていうと、懐かしさを求めて集まる事が目的だったようです。それもまた大切な要素だと思います。が、私たちは新しい出会いの場でもあると考えます。会員のそれぞれが様々な分野で活動したり生活をしております。ひょっとしたらその場に「アナタの人生において忘れられない１日」となるかもしれません。（ちょっと大げさですかねぇ。。。）そんな忘れられない一日を造るために、ご参加をお願いいたします。あらゆるアクセスを可能にしてお待ちしております。

連絡先：杉浦章介（73Ｓ）
〒446－0036
安城市小堤町12－21
showsuke@katch.ne.jp
ＦＡＸ　0566-76-3152

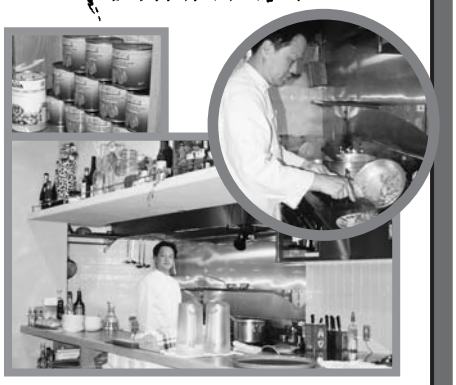
精華人の思い出レストラン

『れあた』
精華大　学外食堂として営業開始

昨年惜しまれつつ取り壊された「LITTLE・REATA」が2002年秋、大学学外食堂としてオープンしました。施設名もそれまでの通称であった「れあた」をそのまま残した馴染み易いものです。学内の学食とは違いランチタイムと居酒屋?タイムとに別れています。ランチタイムは主に定食を中心にうどん・そば・丼もの、とっても美味しい手作りおにぎりは種類色々、おまけに定食のご飯はおかわり自由と言うからとっても素敵、価格も学生と一般とに別れているものの消費税込みで定食￥740も驚き価格。またちょっと一杯夕方からのメニューは夕定食、鉄火丼、お茶漬けなどに加え本日のお造り、鶏唐揚げおろしぽん酢、茄子三色田楽とくればもちろん、生ちゅー・酎ハイ・酒もあります。大学関係者はもちろんご近所様、早耳の卒業生が一日の仕上げにちょいと一杯、毎日賑わっています。75年度8期生までの卒業生は新しい施設として、76年度9期生以降の卒業生はどんな風になったんだろうと尋ねてみてください。6月14日に近畿支部立ち上げ同窓会がこの場で行われます。併せて参加してみてはいかがでしょう。

通　常　11:00～16:30（昼メニュー）
　　16:30～21:00（夜メニュー）
ＴＥＬ　075-723-1141
定休日　水曜日
※営業は京都精華大学の都合により変動します。

SPAGHETTERIA Primavera
スパゲッテリア プリマヴェーラ

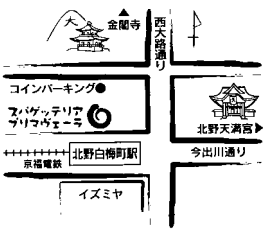


北野白梅町に2002年8月、スパゲッティを中心としたイタリア料理店「スパゲッテリアプリマヴェーラ」がオープンした。イタリア語の「春」という意味だ。駅隣だがとても静かでイタリアのカフェそのままの店内はしっくりと落ち着ける。オーナーは洋画科84年度生の白石鉄弥氏。美術生が何故料理人に…。卒業の年は第一次イタリア料理ブーム。テレビ、雑誌、マスコミからそのすばらしさが飛び込んで来る。そしてその美味しさに感動。料理と芸術…必ず通じるものがあるはず!そう悟り、卒業後、京都で一番おいしいと思ったイタリア料理店に飛び込み修行した。

料理も芸術!!何も無い所から良い素材を使ってオリジナルの美味しい料理を生みだす。味・盛り付けも芸術だと言い切る。精華の自由自治を学び、自主的に考えだすパワーはすごい。イタリア人の気質、人生一度きり、楽しく生きよう!!

新鮮な魚・肉・野菜はキラキラして見飽きない。季節ごとの旬の物を使った美味しい料理が、心の中に残りまた食べて感動したいと思ってもらえる物を作っている。メニューは甲羅から煮込んだダシを使った手長エビのスパゲッティ・本場ナポリの味くん製チーズのピッツァマルゲリータ・赤ワイン煮込みのプルーンタルトなど…etc。

前菜、スパゲッティ、パン、ピッツア、デザートに至るまで全て手作り、「うま～い!!」と叫んでしまう美味しさです。1人で気楽に入れリーズナブルな値段です。25人くらいのパーティーもOK、予算に応じて企画していただけます。街の中でしか美味しい店に出合えないと思っていませんか。街はずれの大当りの味をどうぞ。1人でも多くの方に味わってもらいたい。精華人ならサービスします。ちょっと一言声をかけてください。



営業時間　11:30～14:30（ラストオーダー）
　　17:30～21:30（ラストオーダー）
定休日　水曜日
ＴＥＬ　075-461-7555
住　所　京都市北区北野上白梅町24
　　ジュノー雅101

BOULANGERIE
eze bleu
エズ　ブルー

あの、ほんやら洞の向かいらへんに卒業生がパン屋さんを始めたようだと聞き早速お店の紹介と話を伺いました。88Tの嶋田和子（旧姓 原田）と申します。

1、2回生で染めを専攻し、結果それを織り成す色彩芸術に魅せられファイバーワークにその経験をいかし自己の創作意欲、感性を昇華させることに努めました。卒業後立体物をつくる仕事に就きたいと考えていた私は、ディスプレイ用品を制作しているアトリエで働きました。その頃パン職人を志す主人と出会い、一緒にパン屋を開業するという夢に向かって共に歩んでゆく決意を固めました。その後の1年、早朝はサンドイッチ作りのアルバイトをしそれを終えるとすぐケーキ屋で修業するという過密スケジュールを無我夢中でこなす日々を送りました。時同じくして主人のほうはフランス留学でお菓子作りを勉強していました。主人が留学を終える3カ月前から私もフランスに渡り、2人一緒にパン、ケーキetcを食べ歩きました。帰国後2人は結婚しパン屋開業に向けての実質的な基盤作りを5年間力を合わせて　歩んで参りました。そして2人の夢のパン屋を開業することが出来ました。余談になりますが店の屋号であるez　Blueという名の由来は、以前2人で旅した南フランスにある小さな村に関係しています。その村は地元の人達の間ではタカの巣村と呼ばれており、その村から見下ろした青く深い海、そして澄み渡る青い空がとても印象的でした。2人はこの感動をそのまま日本に持ち帰りお互いの希望の門出、つまりは店の名に引用しようと誓いました。

お店のオープンが決まると私達は内装の建築資材を自分たちで探し歩きました。それを使用し、理想通りに仕上げて下さった工務店の方々には大変感謝致しております。なかでも一番のお気に入りは主人と私とで制作した手作りファニチャーであり今後お店を継続発展させていくうえでの励みにもなりまた、モチベーションの象徴でもあります。そんなお店のドアを開けて入って来られたお客様が私達の作ったパンを求めてくださる。おいしいパンをどうぞ召し上がれ!

営業時間　AM7:00～PM7:00
定休日　毎週火曜日、第3月曜日
ＴＥＬ　075-231-7077
住　所　京都市上京区今出川通寺町西入ル
　　大原口町212 カーザビアンカビル1F

第9回 数珠つなぎ

京都精華大学 木野会

■精華大学同窓生、職員を交えて、数珠つなぎで紹介して頂いています■

スタート

68E 林　直子（旧姓 相原）
68E 野村 久子（旧姓 岡本久）
68E 黒田 妙子（旧姓 塩見）
68E 高橋 洋子（旧姓 山形）
69D 平尾 律子（旧姓 新池）
69D 森下 み令（旧姓 吉岡）
69T 福田 妙子（旧姓 北河）
69T 牧田 通子（旧姓 辻）
69T 今井 真理子（旧姓 保母）
69E 小林 ふみ子（旧姓 依田）
69E 松下 恵子（旧姓 寺尾）
69E 久留島 光子（旧姓 玉江）
70P 臼井 真利子（旧姓 中村）
71P 村岡 顕美
82S 高倉 哲法
71P 森田 洋子（旧姓 大見ひろ子）
86P 高橋 雅史
86P 米田 和秀
87P 築山 佳民
87P 堤　武士
87P 小椋 和明
85P 後藤 智子（旧姓 黒川）
85D 福田 絵麻（旧姓 藤井）
85D 藤原 恵津子（旧姓 西田）
85J 日浦 美穂
85J 山中 麻由美（旧姓 山中）
86T 山岸 大晃
84S 黒田 悟一
84S 和知 篤司
82M 光藤 佐
82M 田中 今子（旧姓 佐藤）
83P 深井 郁子
81Z 山口 裕之
82J 山口 里香（旧姓 寺村）
81D 川人 祥弘
81Z 村尾 すなほ
81Z 谷口 年三
89J 田畑 稔
89J 高戸 涼子
88J 釣井 明
87C 高田 典行
87C14 中井 和仁
88J16 中井 公子
86S19 西村成生
77S 高橋 克明

77S 浅井 直美（旧姓 清水）
79XZ44 岡山 智子（旧姓 高橋）
74D 増田 祐三
74D 吉村 弘之
74D 野村 宗男
74D140 渡辺 均
74D60 阪　七絵
74P70 山羽 敦子
74P54 野中 美智子（旧姓 広瀬）
74T23 網　美恵
74T42 佐藤 節子（旧姓 横田）
74T 藤本 睦子（旧姓 山内）
72T34 吉田 真弓（旧姓 三ツ柳）
72T39 阿部 和子（旧姓 吉川）
72T5 加藤 由美子（旧姓 石橋）
72T 墨　豊紀代（旧姓 石原）
72T 原田 剛照
79Z80 宮永 健次
79Z100 渡辺 美智雄
76D70 上原 宏子（旧姓 高井）
75D35 木曽 健司
79D10 大江 有紀子
90L191 村上 雅樹
94L409 結城 大介
95L 湯田 直樹
95L206 永井 聖人
86P50 渡部 崇徳
89H19 渡部 真理子（旧姓 西村）
89H21 廣田 多世
87H17 大政 優子（旧姓 南）
88T4 高井 利江子（旧姓 石原）
88T37 宮地 隆幸
88T20 近森 知代（旧姓 武山）
88C 近藤 あかね
90XC1 中森 知恵（旧姓 宮嶌）
88U 佐藤 朱美（旧姓 今川）
81S11 外礒 秀紹
84S 伊藤 隆蔵
84S20 村下 泰清
84S1 石田 純之
82P52 渡辺 裕之
82J6 半井 映子（旧姓 大西）
82J8 定井 珠女（旧姓 末田）
82P9 北原 洋子（旧姓 太田）

①82M1　梅田千絵
●大阪府高槻市在住
●俳優
役者という生きものになって16年。ある時はアメリカ人、ある時は中国人、そしてある時は心中する遊女になったりしながら支離滅裂に生きております。というワケで、すっかり現実社会に疎い人間になってしまいました。

②80D16　尾角裕二
●京都市左京区在住
●会社員
みなさんお元気ですか？
ぼくは、染織の職人として、コツコツと仕事をしています。

③83T29　尾角さよ子（旧姓 森）
●京都市左京区在住
●主婦&デザイン事務所経営
デザイン事務所を独立して早や8年、結婚して早や5年、子供はもうすぐ4歳になります。自宅に事務所をおいて、家事の傍ら（？）仕事、仕事の傍ら（？）家事の毎日。一日が本当にアッという間です。地元京都に根をはって、将来は作家めざしてがんばりたい！

④79Z30　清武博二
●京都市北区在住
●会社員　任天堂(株)
卒業後、何となく身を置いた会社に早や20年。
何をやりたいか考えてるうちに作品を作らなくなりました。
でも、ま、これもこれでいいかと思える様になりました。

⑤77T32　清武雅恵（旧姓 村井）
●京都市北区在住
●主婦・パート勤務
主婦業と仕事で一日があっという間に過ぎていく毎日です。少しは時間を作って物作りをしたいと思っているのですが…。
いずれは主人と工房を持って、作品を作っていけたらと夢見ています。

⑥81D　松岡洋史
●京都市伏見区在住
●任天堂(株)
ファミコン、ゲームボーイ、64、アドバンスと、ゲームソフトを作り続けて20年近くになります。これからも、ゲームに限らず世界の人たちに夢や感動を与えるような商品を作り続けていきたいと思います。

⑦81D　松岡浩美（旧姓 石本）
●京都市伏見区在住
●主婦
長女が12歳で受験、次女は3歳で遊び盛り。公園通いと勉強とで手一杯で今は趣味の真珠のアクセサリー作りなどもおあずけです。

⑧81Z17　早野真美（旧姓 岡本）
●京都市西京区在住
こんにちは！夫、娘　猫（みな一匹ずつ）で暮らしています。阪急桂駅西口前で夫婦で「画房巽」なる小さな画材店をしています。マット切りの上手い夫とアドバイス上手な（？）オバハン（精華行ってて ヨカッタ）が手ぐすねひいてお待ちしています。次は上得意のサコちゃんです。

⑨81Z35　藪下淳子（旧姓 櫻井）
●京都市上京区在住
●造形教室主宰
たくさんの子ども達が描く絵やいっしょうけんめい作った工作などに囲まれ、彼らのエネルギーをいっぱいもらって、自分の元気にして暮らしています。子どもの絵には、確かに底知れぬ魅力があります。工作の発想などにも、笑わせてもらったり、感心したり、愉快な作品にもっともっと出会いたい・・・!!

⑩81Z21　樫　正浩
●京都市西京区在住
●洛南高等学校
卒業後は、イタリア留学、精華大非常勤講師（洋画テンペラ画）、などしながら制作活動をしていました。今年（02年）から高校教員になり、地味に制作を続けています。

⑪81Z3　浅田　徹
●京都市山科区在住
卒業後数年してスペインのバルセロナに渡りました。あちらの空気や気質が性に合い、ふっと気が付くと14年も行き来していました。最近一番熱中している事がスペイン舞踊フラメンコです。いつか舞台に上がれたらと思う今日近頃です。

⑫81Z48　谷添　聡
●茨木市在住
今のところ絵画教室の講師をしています。子供も大人も、ヒトは物を創ったり工夫するのが好きな生きモンなんやなぁ～と思う日々です。

来年の一番 83M　三木千種さんから

information

WELL COME 精華人

木野会報「精華人」は卒業式に合わせて発行されています。これによって新同窓生の住所登録のお願い、東京五月祭の案内、木野会総会の報告や会計報告を速やかにお知らせしています。

「新人"精華人"は卒業後の住所登録をお忘れなく」

精華大学同窓会会報誌「精華人」(旧　木野会報)は、毎年一回会員(93年度生以降全入学生入会済み)のみに配布されています。
新同窓生の皆さんには卒業式当日、他の書類と共に手渡されます。
これは、半数近い人の住所録が最終学年の下宿の住所になっているため新たに住所登録を求めるためでもあります。実家に戻られる方、転居される方、変更されない方すべて登録し直してください。登録されないと「不明」になることがあるので注意してください。移動が予想される場合、実家の住所も登録してください。

木野会から

「精華人の "わ" 広げましょう」

各地域で、もっと最近の大学の様子が知りたいといった意見を伺います。“精華人” ではそう言った意見を取り上げ、会報誌の充実を計って行きたいと思っています。また、一人でも多くの方が木野会に参加されることを望んでいます。「精華人」の届いていない、未入会のお友達を是非お誘いください。

「入会は簡単」

郵便局備え付けの振り込み用紙に学籍番号（入学年度、学部、学科）住所、　氏名（旧姓）電話番号、E-mail, を記入の上、終身会費1万円を振り込みください。

口座番号：京都0・42332
金額：￥10,000
京都精華大学同窓会木野会　宛

海外支部から一言

「台湾支部」

2年前、台湾支部が成立した頃からの活動を報告いたします。
初代の会長は黄茂良さん（92XU）でした。そして幹事長は羅震洋さん（92D）が務めていました。最初の活動は台湾に帰国した留学生との連絡でした。先輩たちは台北に限らず、台湾の各地で仕事をしていますので卒業生全員を集めるのは容易ではありませんでした。そこで少人数で連絡を取ることを考え付きました。例えば、台北の地域でしたら、陳勧如さんと王恵蓉さんが担当で、イベントがあれば会長が二人に知らせて、二人から台北に住んでいる卒業生に連絡するという方法がとられるようになりました。全国各地でも徐々にそして確実に卒業生にメッセージが届けられる様になってきました。
これからの活動は先輩達と連絡を取り合い、なるべく全員の都合に合わせて不定期に懇親会を設ける予定です。そして、出来れば5月にホームページを作ろうと思います。そうすることによって卒業生に最新のメッセージを伝えたり、イベントや集会の通知をする手間も省けると思います、どうぞご期待を。
最後になりましたが、今年度より黄先輩から私、陳鏡閔（95M）が引き継ぐことになりました、卒業してまだ1年しか経っていませんが台湾支部と共に宜しくお願いします。

「韓国支部」

今年は何やら色々と忙がしくされています、金琪祚会長（82×D）は昨年より陶芸作品の研究・制作の為滋賀県の信楽に滞在されていました。
また金大鶴副会長はレストラン「Eu-Gi Yang Yang」の2号店を出店されるなど活躍されています。
同窓会の方も作品展を企画とのこととウワサで聞いています。

懸賞作品募集

「表紙デザイン・文中カット大募集」

木野会会報誌では誌面に使用する作品を広く募集しています。表紙面を思い切りあなたの絵・デザイン・写真で飾ってください。
また文中で使えるカット画もお気軽にお寄せください。
大胆な作品をお待ちしています。

●賞金・賞品
表紙デザイン1点…3万円
文中　使用カット1点に付…プリペイドカード

●応募方法
サイズ：縦18cm×横18cmの中で
技法：イラスト画、写真、版画など自由。ただし色は一色刷です。
カット画：自由に描いてください。
作品の裏には必ず作品のタイトル・コメント・住所・氏名・学籍番号・電話番号を記入してください。

●締め切り　平成16年1月15日必着

●宛て先
〒606-8588　京都市左京区岩倉木野町137
京都精華大学同窓会木野会「会報 表紙デザイン」係

●表紙制作者
西岡れな　99×L22
卒業して今年で3年目、社会人になって3年目。
時々、楽しかった精華での学生生活を思い出して戻りたくもなります。だって、精華人テンション高っ。
あの頃は、ホント青かったなぁ…今も青いケドね。
まだまだ人生長いので、多くの事を吸収して良い空気として吐き出していきたいです。

木野会報 精華人 第11号　発行日／平成15年3月20日　発行／京都精華大学同窓会「木野会」　〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137　TEL. 075-702-5201　FAX .075-721-9019　http://www.kyoto-seika.ac.jp/sekajin/index.html　編集／同窓会報編集委員会　印刷／(株)Thinks.

この冊子は再生紙を使用しています。